

投票番号
7

「沼津 秋まつり」～心躍る！街おどる！！～

沼津の秋のまつりとして、11月22日、23日に開催予定！！

■11月22日「前日祭」

よさこい東海道をはじめ
アジアンマルシェや
地元のダンスイベントが
沼津駅南口エリアに大集合
歩くたびに新しい出会いと
楽しさが待っている、
まち全体がステージ
になる、前日祭を開催します



■11月23日「当日祭」

キラメッセ沼津に
多彩な踊りが集結！
フィナーレは、誰もが参加できる
大盆踊り大会
会場が**ひとつの踊りの輪**となり
笑顔あふれる
秋まつりを締めくくります



事業の
ねらい

観ても楽しい！一緒に踊れば、もっと楽しい！！

踊る人も、見る人も、気づけばみんなが笑顔になっている。そんな秋まつりを目指します！
地域で受け継がれてきた盆踊り文化を未来へつなぐため、「よさこい東海道」をはじめ、
多彩な踊りが一堂に集結。**世代や地域を超えて、人と人がつながる一日**を創ります！

事業計画書

事業名	「沼津 秋まつり」～ 心躍る！街おどる！！～
実施場所	前日祭(沼津駅南口各所)、当日祭(キラメッセ沼津および北側道路)
実施予定期間	令和8年 9月15日 ～ 令和9年 3月31日

事業概要

中心市街地を舞台に「心躍る」をテーマとした誰でも参加できる秋まつりを開催する。沼津駅南エリアでよさこい東海道をはじめとした複数イベントが連携する『前日祭（分散型）』と、駅北エリアで大盆踊り大会やパレード、ステージ発表を行う『当日祭（集約型）』の二層構造で実施し、沼津の新たな秋の風物詩としての定着を図る。

目的

現在、沼津における秋の代表的なイベントはよさこい東海道だが、よさこいを好む人以外にファン層を拡大できていないという課題がある。「踊り」の要素を活かしつつ、より広範な市民が関わり、誰もが楽しめるイベントとして再編集することで、わがまちのイベントとして受け入れられ、沼津の新たな秋の風物詩となるイベントを目指す。

市内の舞踊・ダンス団体や、様々なイベントの主催団体、商店街などの多様な主体が「心躍る」をテーマに結集し、まち全体の一体感と持続可能なにぎわいを創出する。

市制60周年を記念して制作された「沼津ふるさとの街」に改めてスポットを当て、誰もが参加できる大盆踊り大会などを通じ、世代を超えて「ようこそ」を共有する機会とする。

実施内容

日程	実施項目・作業項目
全体会議	～8月、12～3月：月1回、9～11月：月2回
部会会議	随時（企画部会、会場運営部会、よさこい部会、安全警備部会、出展・協賛部会、広報・ボランティア部会、本部事務局）
6月中	マチカツ申請
7月	企画案確定 会場確保、警察協議・道路使用許可申請 協賛金募集開始 市内ダンス・舞踊団体との調整
8月	キービジュアル作成 参加団体、出店者募集 web サイト開設、SNS 運用開始
9月	マチカツ採択（予定） タイムスケジュール確定 チラシ・ポスター発注
10月	チラシ・ポスター配布 ボランティア募集

11 月	スタッフ配置・行動計画確定
11 月 21 日(土)	前日祭準備設営
11 月 22 日(日)	前日祭（沼津駅南口各所）来場者が気軽に踊りに触れる機会の創出 ・よさこい東海道（上本通り・アーケード名店街・かのがわ風のテラス） ・アジアンマルシェ・パンまるしえ（仲見世商店街） ・市内ダンス・舞踊団体によるイベント（商店街空き店舗等） ・商店街による自主イベント 当日祭準備設営
11 月 23 日(月祝)	当日祭(キラメッセ沼津および北側道路) ・「ようこそ」企画：「沼津ふるさとの街」を軸に誰もが参加できる盆踊り ・ステージ企画：市内ダンス・舞踊団体によるパフォーマンス ・路上企画：大パレード、よさこい流し踊りなど、まちとの一体感・にぎわいを演出 ・飲食・物販
12～1 月	振り返り、実績・アンケート等取りまとめ、報告書・決算書類作成 協賛者お礼
2 月中	総括、次年度準備開始
3 月中	マチカツ実績報告書提出

事業効果

事業の実施により、期待される効果を記載してください。

複数イベントの連携開催により、イベント間の相互送客による来場者の回遊と滞在時間延長が図られることで、商店街や飲食店、宿泊等へ波及し、地域経済が活性化する。
民間主体のネットワークと機動力を活かし、多様なダンスコミュニティを巻き込むことで、沼津の新たな踊り文化の定着を図る。

成果指標	・来場者数 ・出店者の満足度	指標の 検証方法	・来場者数のカウント ・出店者、ステージ等参加者へのアンケート
------	---	-------------	--

評価の視点に合致していることの説明

評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

社会的 必要性	市内の多様なダンスコミュニティやイベントを巻き込むことで、より広範な市民が参加できる魅力的な秋まつりを実施し、沼津夏まつりに匹敵する市民総参加の祭りを創出する。 多くの市民や事業者が関わることによって、多様な主体による持続可能な地域活性化が推進される。
地域性	市制 60 周年を記念して制作され、老若男女に親しまれている「沼津ふるさとの街」にスポットを当て、みんなで踊ることで一体感を演出し、参加者が「沼津」の魅力を再認識する機会とする。 様々なダンスやイベントを通じたコミュニティと連携し、沼津の新たな秋の風物詩と一緒に作り上げることで、市民意識の高揚が図られる。

独創性	イベント開催やまちづくり、担い手の育成など地域活動に深く関わってきた、現在の沼津における最強メンバーが実行委員会の構成員となり、多様な主体を巻き込みながら、既存の枠組みを超えた新たな官民連携と独創的なまつり運営にチャレンジする。
実現性	11月の開催日までの時間は限られているが、各々イベント運営の経験が豊富なメンバーの英知とネットワークを駆使し、幅広く協賛金を募り、財政基盤を強固にするとともに、道路使用許可申請などをもれなく実施し、警察等の関係機関とも密に連携するなど、法令を遵守した安全で事故のないイベント運営を実現する。
発展性	多様な主体を巻き込むことによって、多くの出演者・来場者を会場に誘引し、相乗効果によるにぎわいと経済効果を生み出す。この沼津秋まつりを主体的に継続開催し、将来的には夏まつりと並ぶ沼津の二大まつりとして、地域の誇りとなる踊り文化へと発展・定着させていく。

次年度以降の活動予定

ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

初年度の実施結果を踏まえ、次年度以降はよりブラッシュアップされた沼津秋まつりを実施予定。

実績の評価と改善点（継続事業のみ）

継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。